

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2014年12月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 19.0	12/9	0	11.5	33.99	0	0	0	0	0	
		10	11.4	33.99	0	0	0	0	0	
		20	10.5	33.96	0	0	0	0	0	
		30	10.1	33.90	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.0	12/15	0	7.6	32.87	0	0	0	0	0	
		5	7.8	33.70	0	0	0	0	0	
		10	8.0	33.74	0	0	0	0	0	
		15	8.0	33.74	0	0	0	0	0	
		20	8.0	33.76	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 13.0	12/15	0	7.5	33.75	0	0	0	0	10	Dt10
		5	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		10	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		15	7.5	33.77	0	0	0	0	0	
		20	7.5	33.76	0	0	0	0	0	
		25	7.5	33.76	0	0	0	0	10	Dt10
知内 津軽海峡 16.0	12/8	0	14.1	33.94	0	0	0	0	0	
		10	14.1	34.00	0	0	0	0	0	
		20	12.1	33.92	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、太平洋中部では10.1~11.5°C、津軽海峡では12.1~14.1°Cです。

12月中旬の水温は、噴火湾東部では7.6~8.1°C、噴火湾西部では7.4~7.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC70)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年12月10日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (7.0)	12/9	0	6.5	32.45	0	0	10	0
		5	6.5	32.45	0	0	10	0
		10	6.5	32.46	0	0	0	0
		15	6.5	32.46	0	0	10	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月の標津海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC69)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年12月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.0)	12/5	0	6.4	32.46	0	0	40	0	
		5	6.4	32.53	0	0	20	10	Di
		10	6.6	32.63	0	0	20	10	Di
		13	7.2	32.75	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどが少し出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC68)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年12月4日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (8.8)	12/1	0	5.2	32.05	0	0	20	0
		3	5.2	32.06	0	0	20	0
		6	5.1	32.09	0	0	30	0
		9	5.1	32.26	0	0	50	0
		12	5.3	32.39	0	0	0	0
		15	5.8	32.47	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月上旬のサロマ湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが少し出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2014年12月4日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 19.0	11/18	0	12.2	34.04	0	0	0	0	0	
		10	11.1	33.96	0	0	0	0	20	Dm10,Dru10
		20	10.5	33.93	0	0	0	0	10	Dt10
		30	9.9	33.87	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.5	11/30	0	8.7	33.03	0	0	0	0	10	Dt10
		5	9.1	33.48	0	0	0	0	20	Dt20
		10	9.3	33.61	0	0	0	0	0	
		15	9.4	33.70	0	0	0	0	0	
		20	9.3	33.70	0	0	0	0	0	
		25	9.5	33.77	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 16.5	11/20	0	11.1	33.77	0	0	0	0	10	Dn10
		10	11.1	33.80	0	0	0	0	20	Dt20
		20	11.1	33.85	0	0	0	0	30	Dt30
		30	11.2	33.86	0	0	0	0	10	Dt10
鹿部 噴火湾湾口部 13.5	11/28	0	10.8	33.96	0	0	0	0	0	
		5	10.7	33.96	0	0	0	0	0	
		10	10.7	33.96	0	0	0	0	0	
		15	10.7	33.96	0	0	0	0	0	
		20	10.7	33.96	0	0	0	0	0	
		25	10.6	33.95	0	0	0	0	0	
		30	10.4	33.94	0	0	0	0	0	
40	9.6	33.87	0	0	0	0	0			

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーシカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

11月中旬の水温は、太平洋中部では9.9~12.2°C、噴火湾西部(森)では11.1~11.2°Cです。

11月下旬の水温は、噴火湾西部(八雲)では8.7~9.5°C、噴火湾湾口部では9.6~10.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC67)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年12月3日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (11.0)	11/27	0	11.0	33.88	0	0	0	0
		10	11.0	33.90	0	0	0	0
		20	11.3	34.01	0	0	0	0
		30	11.3	34.09	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC66)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年11月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (6.3)	11/21	0	6.5	32.48	0	0	140	10	Di
		10	6.5	32.54	0	0	180	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の能取湖で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC65)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年11月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (14.0)	11/17	0	14.0	34.00	0	0	0	0
		10	14.0	34.04	0	0	0	0
		20	14.0	34.05	0	0	0	0
		30	14.0	34.04	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2014年11月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.0	11/10	0	12.4	32.27	0	0	0	0	0	
		5	12.6	33.57	0	0	0	0	0	
		10	12.0	33.79	0	0	0	0	0	
		15	11.8	33.80	0	0	0	0	0	
		20	11.8	33.85	0	0	0	0	0	
		25	11.3	33.75	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 -	11/12	0	14.9	34.01	0	0	0	0	0	
		10	14.9	34.01	0	0	0	0	10	Dm
		20	14.8	34.03	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

11月上旬の水温は、噴火湾東部では11.3~12.6°Cです。

11月中旬の水温は、津軽海峡では14.8~14.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC64)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年11月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (7.0)	11/12	0	12.3	33.22	0	0	0	0
		10	12.8	33.55	0	0	0	0
		20	13.0	33.70	0	0	0	0
		30	13.2	33.88	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC63)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年11月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.0)	11/12	0	8.8	31.74	0	0	10	20	Di10,Dm10
		5	8.9	32.63	0	0	80	30	Di
		10	8.6	33.03	0	0	40	20	Di
		13	8.6	33.06	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどが少し出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC62)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 —	11/5	0	12.8	33.77	0	0	0	0
		10	12.9	34.02	0	0	0	0
		15	12.9	34.03	0	0	0	0
		20	12.9	34.03	0	0	0	0
常呂 (11.0)	11/10	0	7.4	31.34	0	0	70	0
		10	8.0	32.27	0	10	10	0
		20	9.5	33.11	0	0	0	0
		30	9.8	33.27	0	10	0	0
サロマ湖 (2.8)	11/10	0	8.0	31.93	0	0	60	10
		3	8.1	32.12	0	0	20	10
		6	8.5	32.49	0	0	0	0
		9	8.6	32.48	0	0	0	0
		12	8.6	32.53	0	0	0	0
		15	8.7	32.60	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の猿払、常呂およびサロマ湖で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂とサロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC61)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年11月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津	11/5	0	11.4	33.02	0	0	0	0
-		5	11.3	33.00	0	0	0	0
		10	11.3	33.01	0	0	0	0
		15	11.2	33.00	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の標津海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2014年10月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 11.0	10/23	0	14.5	32.64	0	0	0	0	20	Dt20
		10	15.0	33.05	0	0	0	0	60	Dt60
		20	15.5	33.42	0	0	0	0	70	Dt70
		30	14.7	33.47	0	0	0	0	10	Dru10
鹿部 噴火湾湾口部 11.5	10/22	0	15.4	33.16	0	0	0	0	40	Dt30,Dru10
		5	15.4	33.17	0	0	0	0	70	Dt70
		10	15.4	33.17	0	0	0	0	130	Dt130
		15	15.4	33.17	0	0	0	0	70	Dt70
		20	15.4	33.17	0	0	0	0	40	Dt30,Dm10
		25	15.4	33.18	0	0	0	0	50	Dt50
		30	15.4	33.18	0	0	0	0	30	Dt20,Dru10
40	14.5	33.62	0	0	0	0	70	Dt60,Dc10		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

10月下旬の水温は、噴火湾西部では14.5~15.5°C、噴火湾湾口部では14.5~15.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC60)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年10月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (11.0)	10/23	0	15.2	33.66	0	0	0	0
		10	15.2	33.74	0	0	0	0
		20	15.4	33.78	0	0	0	0
		30	15.5	33.87	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2014年10月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	10/20	0	15.3	32.65	0	0	0	0	110	Dt100,Di10
噴火湾西部		5	15.5	32.97	0	0	0	0	50	Dt40,Di10
4.5		10	15.5	33.14	0	0	0	0	30	Dt20,Di10
		15	15.6	33.19	0	0	0	0	0	
		20	15.6	33.23	0	0	0	0	10	Dt10
		25	15.6	33.47	0	0	0	0	0	
		30	15.4	33.70	0	0	0	0	0	
知内	10/15	0	18.1	33.61	0	0	0	0	10	Dm10
津軽海峡		10	18.1	33.71	0	0	0	0	10	Dm10
14.0		20	18.0	33.82	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

10月中旬の水温は、噴火湾西部では15.3~15.6°C、津軽海峡では18.0~18.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年10月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 13.5	10/16	0	17.5	33.78	0	0	0	0
		10	17.5	33.81	0	0	0	0
		20	15.0	34.03	0	0	0	0
		30	11.5	33.91	0	0	0	10

Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差でデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年10月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (4.5)	10/8	0	15.4	33.32	0	Aa 10	10	10	30	Di20, Dm10
		10	15.4	33.32	0	Aa 10	0	0	20	Dru10, Dro10
猿払 —	10/8	0	16.5	33.70	0		0	0	0	
		10	16.6	33.99	0		0	0	0	
		15	16.5	34.00	0		0	0	0	
		20	16.5	34.00	0		0	0	0	
常呂 (14.0)	10/14	0	13.0	33.02	0		0	10	20	Dro
		10	13.3	33.21	0		0	0	0	
		20	12.6	33.20	0		0	0	10	Di
		30	12.3	33.24	0		0	0	0	
サロマ湖 (2.8)	10/14	0	13.8	33.27	0		0	0	0	
		3	13.9	33.35	0		0	0	0	
		6	14.0	33.34	0		0	0	0	
		9	14.0	33.33	0		0	0	0	
		12	13.8	33.27	0		0	0	0	
		15	13.5	33.30	0		0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の能取湖、猿払、常呂およびサロマ湖で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラ、ルジエイ、ロツンダータ、ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年10月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
標津 (7.0)	10/8	0	16.3	33.54	0	0	0	0	
		5	16.3	33.55	0	0	0	0	
		10	16.2	33.55	0	0	0	10	Dro
		15	16.2	33.55	0	0	0	30	Dro10, Dm20

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の標津海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータ、ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2014年10月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	10/6	0	15.5	33.47	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	15.5	33.47	0	0	0	0	10	Dro10
7.0		20	15.4	33.45	0	0	0	0	20	Dt10,Dro10
		30	14.5	33.44	0	0	0	0	10	Dro10
虻田	10/8	0	16.9	32.80	0	0	0	0	80	Dt50,Dm10,Di20
噴火湾東部		5	16.5	32.96	0	0	0	0	30	Dt30
10.0		10	16.5	32.97	0	0	0	0	40	Dt20,Dm10,Dru10
		15	16.6	33.12	0	0	0	0	40	Dt40
		20	16.3	33.27	0	0	0	0	70	Dt60,Dm10
		25	16.3	33.39	0	0	0	0	60	Dt60

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

10月上旬の水温は、太平洋中部では14.5~15.5°C、噴火湾東部では16.3~16.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年10月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	10/8	0	14.4	32.43	0	10	400	10	Di
		5	14.7	32.78	0	10	230	10	Di
		10	14.7	32.82	10	0	120	30	Di20, Dro10
		13	14.8	32.95	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

また、デイノフィシス・フォルティ、インファンディブラ、ロツンダータも出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年10月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (5.0)	9/25	0	19.8	32.65	0	0	0	10	Dm
		10	20.0	33.68	0	0	0	10	Dm
		20	20.0	33.70	0	0	0	0	
		30	20.0	33.71	0	0	0	0	
浜益 (2.0)	9/25	0	20.3	28.62	0	0	0	0	
		10	20.3	33.64	0	0	0	0	
		20	20.6	33.82	0	0	0	0	
		30	20.4	33.91	0	0	0	0	
江差 22.5	9/26	0	21.7	33.86	0	0	0	0	
		10	21.5	33.91	0	0	0	0	
		20	19.7	34.10	0	0	0	0	
		30	14.1	34.35	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でディノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2014年9月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	9/22	0	20.5	33.90	0	0	0	0	20	Dro20
津軽海峡		10	20.4	33.91	0	0	0	0	0	
—		20	20.2	33.89	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーシカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡に出現しています。

9月下旬の水温は、津軽海峡では20.2～20.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年9月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.5)	9/22	0	17.4	32.36	10	0	240	0
		5	16.6	32.62	500	0	180	0
		10	15.7	33.09	60	0	0	0
		13	15.4	33.14	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフイネ (無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが多く出現しています。
 太平洋東部海域では、麻痺性毒性値の上昇に警戒してください。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年9月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.3)	9/12	0	20.2	32.88	0	Aa 41,440	0	0	50	Dm
		10	19.6	33.32	0	Aa 5,200	0	0	30	Dm

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下の能取湖麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年9月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (11.0)	9/16	0	19.4	33.55	0		0	0	0	
		10	19.0	33.60	0		0	0	10	Dro
		20	18.2	33.68	0		0	0	10	Dm
		30	17.0	33.74	0		0	0	0	
サロマ湖 (8.0)	9/16	0	19.5	33.08	10	Aa 20	0	10	0	
		3	19.4	33.00	0	Aa 10	0	0	0	
		6	19.3	33.06	0	Aa 20	0	0	0	
		9	19.3	33.06	0	Aa 30	0	0	0	
		12	19.2	33.11	0		0	10	0	
		15	18.9	33.15	0		0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月のサロマ湖で、麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2014年9月19日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 13.0	9/8	0	21.2	33.19	0	0	0	0	0	
		10	16.4	33.31	0	0	0	10	0	
		20	13.7	33.21	0	0	0	0	0	
		30	13.3	33.51	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 11.0	9/9	0	21.6	30.71	0	0	0	0	30	Dm30
		5	21.1	31.16	0	0	0	0	20	Dt20
		10	20.4	31.93	0	0	0	0	20	Dt20
		15	19.1	32.70	0	0	0	0	0	
		20	18.0	32.86	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 8.0	9/16	0	21.0	30.42	0	0	0	0	0	
		5	21.3	31.18	0	0	0	0	60	Dt30,Dm30
		10	21.0	31.73	0	0	0	0	80	Dt50,Dm20,Dru10
		15	20.2	32.22	0	0	0	0	30	Dm20,Dro10
		20	18.5	32.70	0	0	0	0	10	Dt10
		25	14.7	32.41	0	0	0	10	20	Dt10,Dm10
森 噴火湾西部 11.0	9/17	0	20.7	31.03	0	0	0	0	0	
		10	20.8	31.17	0	0	0	0	20	Dm20
		20	19.7	32.02	0	0	0	0	20	Dt20
		30	12.3	32.28	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 9.5	9/17	0	20.4	31.83	0	0	0	0	70	Dt40,Dm20,Dro10
		5	20.5	31.85	0	0	0	0	50	Dt30,Dm20
		10	20.5	31.87	0	0	0	0	40	Dt40
		15	20.6	32.01	0	0	0	0	40	Dt30,Dm10
		20	20.7	32.07	0	0	0	0	40	Dt30,Dro10
		25	20.7	32.74	0	0	0	0	0	
		30	20.7	33.25	0	0	0	0	10	Dt10
40	17.4	33.06	0	0	0	0	10	Dt10		

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

9月上旬の水温は、太平洋中部では13.3~21.2°C、噴火湾東部では16.3~21.6°Cです。

9月中旬の水温は、噴火湾西部では12.3~21.3°C、噴火湾湾口部では17.4~20.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年9月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	9/8	0	19.6	31.16	0	0	50	10	Dro
		5	17.1	32.66	0	10	130	50	Dro
		10	16.0	32.91	0	0	10	10	Dro
		13	15.3	32.99	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ・アキュミナータ、ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年9月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払	9/2	0	20.55	33.58	0	0	0	0	
—		10	20.48	33.61	0	0	0	20	Dro
		15	20.44	33.61	0	0	0	30	Dm
		20	20.44	33.61	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払でデイノフィシス・ロツンダータとミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年9月3日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (13.0)	8/26	0	22.5	12.92	0	0	0	0	Dro
		10	22.4	33.32	0	0	0	0	
		20	21.6	33.80	0	0	0	0	
		30	19.5	33.80	0	0	0	10	
浜益 (10.0)	8/28	0	21.7	32.90	0	0	0	0	
		10	21.4	33.69	0	0	0	0	
		20	20.4	33.82	0	0	0	0	
		30	17.2	33.79	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2014年9月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	8/28	0	20.2	31.83	0	0	10	0	10	Dm10
噴火湾湾口部		5	19.9	32.38	0	0	10	0	10	Dm10
6.0		10	18.9	32.51	0	0	0	0	0	
		15	16.8	32.85	0	0	70	0	60	Dt60
		20	15.3	33.14	0	0	20	10	40	Dm40
		25	10.7	32.52	0	0	10	0	0	
		30	10.0	32.62	0	0	0	0	10	Dro10
		40	8.2	32.53	0	0	40	0	20	Dro20

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロウンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

8月下旬の水温は、噴火湾湾口部では8.2~20.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (14.0)	8/26	0	23.4	33.51	0	0	0	10	Dru
		10	23.6	33.85	0	0	0	0	
		20	21.6	34.08	0	0	0	10	Dro
		30	17.9	34.17	0	0	0	10	Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ルジエイ、ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年8月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (5.0)	8/20	0	19.4	32.90	10	0	140	20	DiDro
		10	19.2	33.68	0	0	0	0	
		20	18.0	33.58	10	0	0	10	Dro
		30	17.4	33.58	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月中旬の網走南部(網走)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが10細胞/L出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く、インファンディブラおよびロツンダータがわずかに、それぞれ出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2014年8月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	8/14	0	20.4	32.16	10	0	10	0	10	Dro10
太平洋中部		10	19.1	33.53	0	0	0	0	0	
12.0		20	17.5	33.67	0	0	0	0	10	Di10
		30	13.0	33.92	0	0	0	0	0	
八雲	8/21	0	22.1	29.43	0	0	0	10	20	Di20
噴火湾西部		5	21.0	30.98	0	0	0	20	110	Dt20,Dm50,Di20,Dro20
5.0		10	20.7	31.27	0	0	0	20	130	Dt10,Dm80,Di20,Dro20
		15	19.2	31.92	0	0	10	0	70	Dm70
		20	17.4	32.09	0	0	0	0	0	
		25	12.4	31.98	0	0	0	10	0	
		30	8.2	32.19	0	0	0	0	0	
森	8/18	0	19.6	31.17	0	0	0	0	10	Dm10
噴火湾西部		10	15.2	31.83	0	0	20	0	60	Dt30, Dm30
10.0		20	11.7	32.06	0	0	10	0	10	Dt10
		30	8.2	32.19	0	0	0	0	0	
知内	8/25	0	21.7	33.41	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	19.6	33.83	0	0	0	0	0	
7.5		20	18.9	34.00	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

8月中旬の水温は、太平洋中部では13.0~20.4°C、噴火湾西部(森)では8.2~19.6°Cです。

8月下旬の水温は、噴火湾西部(八雲)では8.2~22.1°C、津軽海峡では18.9~21.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年8月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (4.6)	8/22	0	18.8	27.13	10	0	670	10	Dro
		5	15.9	32.34	10	0	120	0	
		10	14.0	32.38	20	0	110	10	Dn
		13	13.0	32.36	0	0	20	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカ、ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年8月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.4)	8/13	0	21.2	32.56	10	10	90	0	Dro
		10	18.6	33.28	0	0	10	10	
標津 (8.0)	8/18	0	18.5	31.12	70	0	0	0	Di
		5	17.7	32.67	10	0	10	0	
		10	17.5	32.86	0	20	40	10	
		15	16.5	33.12	0	0	30	0	
常呂 (16.0)	8/18	0	19.2	33.38	0	0	0	10	Dro
		10	18.8	33.72	0	0	0	30	Dro
		20	18.3	33.72	0	0	0	30	Dro
		30	17.8	33.70	0	0	0	20	Dro
サロマ湖 (4.5)	8/18	0	21.3	32.27	110	0	0	0	Dro Dro
		3	20.8	32.45	20	0	0	0	
		6	20.1	32.56	120	0	10	0	
		9	19.7	32.95	40	0	0	30	
		12	19.0	33.06	10	0	0	10	
		15	18.3	33.03	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の能取湖、サロマ湖および標津海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータ、インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年8月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (21.0)	8/4	0	20.3	33.89	0	0	0	0
		15	19.2	33.88	0	0	0	0
		25	19.1	33.87	0	0	0	0
		40	19.0	33.87	0	0	0	0
猿払 -	8/5	0	20.7	33.80	0	0	0	10
		10	20.6	33.87	0	0	0	0
		15	20.6	33.88	0	0	0	0
		20	20.6	33.88	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払でデイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2014年8月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D</i> 属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.0	8/4	0	24.7	27.10	0	0	0	0	0	
		5	19.3	31.65	0	0	0	10	0	
		10	14.5	31.81	0	0	0	0	0	
		15	10.6	32.03	0	0	0	0	0	
		20	8.7	32.13	0	0	0	0	0	
		25	7.8	32.45	0	0	10	0	10	Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

8月上旬の水温は、噴火湾東部では7.8~24.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年8月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (4.5)	7/31	0	21.4	32.76	50	0	20	0	Dn10, Di70, Dro10
		10	18.6	33.36	70	30	70	90	
頓別 -	8/1	0	19.5	33.71	0	0	0	0	
		10	19.4	33.71	0	0	0	0	
		20	19.4	33.73	0	0	0	0	
		30	19.3	33.76	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは能取湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティ, アキュミナータ, ノルヴェジカ, インファンディブラおよびロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年8月6日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	8/4	0	19.5	30.54	50	0	260	10	Dn
		5	13.3	31.93	0	0	790	10	Dn
		10	9.4	32.23	0	0	200	10	Dn
		13	8.8	32.21	0	0	120	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2014年8月5日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	7/30	0	21.5	31.49	0	0	0	0	10	Di10
噴火湾湾口部 10.5		5	19.8	31.55	0	0	0	0	10	Dm10
		10	17.2	31.69	0	0	0	0	10	Dro10
		15	12.9	31.95	0	0	30	0	10	Dro10
		20	8.3	32.51	0	0	10	0	60	Dro60
		25	7.2	32.66	0	0	10	0	40	Dn30,Dro10
		30	6.4	32.80	0	0	0	0	0	
		40	6.3	32.81	0	0	0	0	40	Dn30,Dro10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラクス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

7月下旬の水温は、噴火湾湾口部では6.3~21.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年8月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			Dro
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (12.0)	7/28	0	22.0	33.87	0	0	0	10	
		10	18.4	34.14	0	0	0	0	
		20	14.1	33.95	0	0	0	0	
		30	11.0	34.05	0	0	0	0	
増毛 (22.0)	7/28	0	21.5	33.66	0	0	0	0	
		10	20.9	33.60	0	0	0	0	
		20	19.7	33.90	0	0	0	0	
		30	15.7	33.86	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月31日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 -	7/24	0	19.1	33.73	0	0	0	0	
		10	18.9	33.74	0	0	0	0	
		15	18.8	33.75	0	0	0	10	Dro
		20	18.6	33.76	0	0	0	0	
標津 (9.0)	7/29	0	16.6	32.19	0	0	0	10	Dru
		5	16.3	32.64	10	0	0	20	Dru10, Di10
		10	16.2	32.71	20	0	0	0	
		15	15.8	32.74	10	0	0	0	
厚岸 (3.5)	7/29	0	13.1	31.49	30	0	90	20	Dn
		5	12.6	31.70	20	0	310	30	Dn
		10	8.7	32.20	0	0	10	0	
		13	8.5	32.24	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の標津と厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカ、ルジエイ、ロツンダータ、インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.2)	7/21	0	18.9	33.36	0	10	0	0	Di
		10	16.7	33.6	10	60	210	40	
網走 (8.0)	7/22	0	14.6	33.55	20	0	0	0	
		10	14.2	33.65	10	0	0	0	
		20	13.7	33.70	60	10	10	0	
		30	13.4	33.76	50	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、7月下旬の能取湖および網走南部(網走)海域で、最高60細胞/L出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2014年7月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/22	0	15.2	31.70	0	0	10	0	0	
太平洋中部		10	14.6	31.91	0	0	0	10	10	Dn10
10.0		20	12.5	31.91	0	0	20	10	10	Dn10
		30	5.0	32.41	0	0	0	40	80	Dn80
虻田	7/23	0	-	-	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	-	-	0	0	0	0	20	Di10, Dro10
14.0		10	-	-	0	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	0	10	0	
		20	-	-	0	0	0	0	0	
		25	-	-	0	0	20	0	30	Dn20, Dro10
八雲	7/24	0	21.3	31.18	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	20.6	31.47	0	0	0	0	10	Dro10
11.5		10	18.3	31.55	0	0	0	0	0	
		15	16.5	31.75	0	0	0	0	0	
		20	14.3	31.89	0	0	0	0	0	
		25	11.3	31.88	0	0	10	0	0	
		30	8.9	32.11	0	0	0	0	0	
森	7/23	0	20.0	31.31	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	18.0	31.94	0	0	0	0	0	
10.0		20	12.9	31.92	0	0	0	0	0	
		30	9.0	32.21	0	0	0	40	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

7月下旬の水温は、太平洋中部では5.0~15.2°C、噴火湾西部では8.9~21.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (12.0)	7/17	0	21.2	32.84	10	0	0	0	
		10	18.6	33.84	0	0	0	0	
		20	15.6	33.86	0	0	0	0	
		30	14.7	33.91	0	0	0	0	
増毛 (25.0)	7/17	0	22.1	33.59	0	0	0	0	
		10	20.5	33.52	0	0	0	0	
		20	16.0	33.80	0	0	0	0	
		30	14.0	33.93	0	0	0	0	
常呂 (18.0)	7/22	0	17.6	33.74	10	0	0	0	
		10	16.5	33.69	0	0	0	0	
		20	16.1	33.80	0	0	0	0	
		30	15.7	33.77	0	0	0	0	
サロマ湖 (11.0)	7/22	0	20.1	33.31	30	0	0	0	
		3	18.9	33.30	0	0	0	0	
		6	18.6	33.41	30	20	0	0	
		9	18.4	33.39	0	0	0	10	Di
		12	16.3	33.19	10	50	0	0	
		15	15.4	33.07	20	50	40	10	Dn

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサントリウム・タマレンセ =旧名 プロトコノラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の浜益、常呂およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカ、インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月23日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (16.0)	7/15	0	21.0	34.04	0	0	0	60	Dro10, Dm50
		10	20.7	34.01	0	0	0	30	Dru10, Dm20
		20	16.5	34.06	0	0	0	0	
		30	14.4	34.15	0	0	0	30	Dro10, Dm20

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月の江差海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ロツンダータ, ルジエイ, ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (15.0)	7/14	0	16.2	33.67	0	0	0	0
		15	14.9	33.83	0	0	0	0
		25	14.7	33.85	0	0	0	0
		40.4	14.0	33.89	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサントリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月中旬の網走北部(紋別)海域では、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2014年7月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D属の他種</i> 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 13.0	7/9	0	18.9	30.99	0	0	0	30	20	Dru20
		5	17.3	31.40	0	0	0	20	0	
		10	12.9	31.69	0	0	0	110	20	Dn20
		15	10.0	31.94	0	0	30	30	40	Dn30,Dru10
		20	8.2	32.03	0	0	0	140	60	Dn60
		25	7.5	32.17	0	0	0	40	50	Dn50
知内 津軽海峡 12.0	7/14	0	18.0	33.76	0	0	0	30	120	Dm120
		10	16.4	33.77	0	0	0	0	100	Dm50,Dro50
		20	14.8	33.99	0	0	0	10	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾東部では7.5~18.9°Cです。

7月中旬の水温は、津軽海峡では14.8~18.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 (-)	7/11	0	15.1	33.74	0	0	0	0
		10	15.1	33.73	0	0	0	0
		20	14.8	33.75	0	0	0	0
		30	14.7	33.76	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の頓別海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年7月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	7/8	0	17.0	33.57	0	0	0	0
		10	13.9	33.73	0	0	0	0
		15	13.8	33.77	0	0	0	0
		20	13.7	33.77	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、7月上旬の宗谷北部(猿払)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年7月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	7/9	0	15.4	29.91	0	0	40	20	Dn
		5	11.7	31.58	0	0	30	90	Dn80, Dru10
		10	8.2	31.93	0	0	40	140	Dn
		13	7.5	32.08	0	0	0	20	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、太平洋東部(厚岸)海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2014年7月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/8	0	-	-	0	0	0	1010	0	
太平洋中部		10	-	-	0	0	0	200	300	Dn280,Dru20
-		20	-	-	0	0	0	30	70	Dn60,Dru10
		30	-	-	0	0	0	30	40	Dn40
森	7/4	0	15.9	31.28	0	0	0	30	0	
噴火湾西部		10	12.2	31.79	0	0	60	40	10	Dru10
9.0		20	8.8	32.08	0	0	10	40	130	Dn130
		30	7.1	32.28	20	0	0	100	80	Dn80

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾西部では7.1~15.9°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年7月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (14.0)	7/7	0	14.7	33.58	0	0	0	0	
		10	13.6	33.75	0	0	0	0	
		20	12.8	33.79	0	0	0	0	
		30	12.8	33.77	0	0	0	0	
サロマ湖 (9.0)	7/7	0	16.6	32.74	0	0	0	10	Dru
		3	16.6	32.74	0	0	0	0	
		6	16.0	32.76	0	0	0	0	
		9	14.7	32.82	0	0	0	30	Dn
		12	12.6	32.67	0	0	10	80	Dn
	15	10.9	32.64	0	0	0	50	Dn	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の網走中部(常呂)およびサロマ湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

今回の調査でAtは出現していませんが、6月下旬の宗谷暖流弱勢時に、相当量のAtが沖合から沿岸に流入したと推察されています。

オホーツク沿岸では引き続き、麻痺性毒性値の上昇に警戒して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・ノルヴェジカが少し、アキュミナータがわずかに、それぞれ出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年7月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (7.0)	6/26	0	11.8	32.44	10	10	0	0	Dn30,Dru20
		10	10.0	32.77	0	0	0	0	
		20	8.5	33.33	0	10	10	50	
		30	8.6	33.33	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカとルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年7月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.9)	6/23	0	14.0	32.30	0	10	30	10	Dn
		10	12.2	32.86	0	0	30	110	Dn70, Dru10, Di30
頓別 -	6/23	0	-	-	310	0	140	540	Dn520, Dru20
		10	-	-	150	0	20	120	Dn
		20	-	-	10	0	10	50	Dn40, Dru10
		30	-	-	40	0	10	40	Dn
猿払 -	6/24	0	12.5	33.60	0	10	0	0	
		10	11.5	33.74	0	0	0	0	
		15	11.2	33.80	0	0	0	0	
		20	11.2	33.80	0	0	0	0	
江差 (13.0)	6/24	0	17.3	33.74	0	0	0	0	
		10	13.2	33.96	0	0	0	10	Di
		20	12.7	34.02	0	0	0	0	
		30	11.1	34.03	0	0	0	0	
増毛 (22.0)	6/24	0	16.9	33.38	0	0	0	0	
		10	14.7	33.66	0	0	0	0	
		20	14.1	33.70	0	0	0	10	Dru
		30	11.6	33.80	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンが、頓別(宗谷南部海域)で多く出現しています。
 オホーツク海沿岸では、麻痺性毒性値の上昇に警戒してください。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータ、ノルウェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2014年6月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 9.5	6/26	0	16.1	30.93	0	0	0	10	0	
		10	10.2	31.95	20	0	0	50	70	Dn50,Dru20
		20	7.9	32.08	20	0	0	30	60	Dn60
		30	6.8	32.25	20	0	0	50	10	Dn10
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	6/19	0	11.2	31.62	0	0	20	50	140	Dn130,Dro10
		5	10.4	31.68	0	10	0	80	190	Dn180,Dro10
		10	10.2	31.81	10	0	0	70	220	Dn210,Dro10
		15	9.6	31.89	20	0	20	50	270	Dn270
		20	8.9	32.01	20	0	10	40	400	Dn400
		25	8.0	32.04	20	0	0	10	80	Dn80
		30	7.0	32.10	0	10	0	0	0	
40	5.8	32.22	0	0	0	10	0			

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトニコラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月中旬の水温は、噴火湾湾口部では5.8~11.2°C、6月下旬の水温は、噴火湾西部では6.8~16.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	6/27	0	14.8	28.75	20	0	120	150	Dn130, Dru10, Di10
		5	6.8	31.81	20	0	70	330	Dn
		10	5.5	32.19	10	0	270	280	Dn
		13	5.3	32.18	0	0	120	190	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、太平洋東部(厚岸)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (5.0)	6/19	0	15.9	28.37	0	30	0	0	
		10	12.9	33.73	0	0	0	0	
		20	11.1	33.71	0	0	0	0	
		30	11.0	33.84	0	0	0	0	
標津 (12.0)	6/25	0	12.6	30.82	0	0	20	0	
		5	12.0	30.91	10	0	0	0	
		10	8.9	32.12	0	0	10	20	
		15	6.7	32.18	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンが標津で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルウェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2014年6月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/23	0	-	-	10	0	0	40	0	
太平洋中部		10	-	-	0	0	20	0	60	Dn50,Dro10
		20	-	-	0	0	0	0	20	Dn20
		30	-	-	0	0	0	10	30	Dn30
虻田	6/16	0	14.5	29.65	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	12.9	31.65	0	0	10	150	60	Dn60
7.0		10	11.2	31.82	0	0	0	100	240	Dn240
		15	10.5	31.88	0	0	0	60	50	Dn50
		20	9.1	31.97	0	0	0	0	30	Dn30
		25	7.6	32.09	0	0	0	0	0	
八雲	6/23	0	17.1	30.61	0	0	0	110	0	
噴火湾西部		5	13.5	31.32	0	0	0	120	30	Dn10,Dro20
8.5		10	11.5	31.68	0	0	0	170	110	Dn100,Dro10
		15	10.2	31.95	20	0	0	90	10	Dn10
		20	9.3	31.99	20	0	0	210	90	Dn90
		25	6.8	32.13	0	0	0	120	30	Dn30
		30	5.5	32.23	0	0	0	40	20	Dn20
知内	6/18	0	12.7	33.02	20	0	0	20	10	Dn10
津軽海峡		10	11.0	33.24	0	0	20	0	80	Dn70,Di10
		20	10.7	33.40	0	0	0	0	10	Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

6月中旬の水温は、噴火湾東部では7.6~14.5°C、津軽海峡では10.7~12.7°C、6月下旬の水温は、噴火湾西部では5.5~17.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (9.0)	6/23	0	10.3	32.68	0	0	0	10	Dn
		10	7.1	33.10	0	0	10	10	Dru
		20	7.7	33.31	10	0	0	0	
		30	7.7	33.36	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	6/23	0	13.6	32.28	0	10	0	0	
		3	13.5	32.35	0	0	0	0	
		6	12.6	32.59	0	0	20	0	
		9	11.3	32.30	0	0	0	0	
		12	10.6	32.13	0	0	10	10	Dn
		15	9.8	32.64	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、常呂海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ, アキュミナータ, ルジエイおよびノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (12.0)	6/16	0	9.8	33.27	0	0	0	20	Dn
		15	8.4	33.53	0	0	0	0	
		25	9.0	33.70	0	0	0	10	Dru
		38.3	9.0	33.70	0	0	10	20	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月中旬の網走北部(紋別)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルウェジカなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 —	6/10	0	10.9	33.51	0	0	0	0
		10	10.4	33.61	0	0	0	0
		15	9.8	33.63	0	0	0	0
		20	9.5	33.67	0	0	0	0
江差 (20.0)	6/13	0	16.0	33.58	0	0	0	0
		10	15.8	33.78	0	0	0	0
		20	15.0	33.85	0	0	0	0
		30	13.2	33.80	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月17日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (6.6)	6/9	0	12.9	31.87	10	10	130	50	Dn50
		10	8.7	32.22	10	10	160	10	Dru10
増毛 (19.0)	6/10	0	14.4	33.24	0	0	0	0	
		10	11.5	33.71	0	0	0	0	
		20	11.5	33.81	0	10	0	0	
		30	11.0	33.77	0	0	0	0	
標津 (4.0)	6/16	0	10.5	27.87	0	0	50	50	Dn
		5	7.2	31.33	0	0	20	10	Dn
		10	3.5	32.40	0	0	0	10	Dn
		15	3.1	32.44	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンが能取湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルウェジカ、ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK09)

(函館水試担当地区)

2014年6月16日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 13.0	6/9	0	9.2	32.36	0	0	0	0	10	Dru10
		10	6.1	31.92	0	0	0	20	300	Dn290,Dro10
		20	4.9	32.00	0	0	0	80	200	Dn190,Dro10
		30	4.6	31.96	0	0	0	10	20	Dn20
虻田 噴火湾東部 15.0	6/2	0	14.2	31.55	10	0	10	0	10	Dn10
		5	9.2	31.97	0	0	0	20	50	Dn50
		10	7.9	32.07	0	0	0	0	20	Dn20
		15	7.4	32.08	0	0	0	0	30	Dn30
		20	7.0	32.10	0	0	0	0	90	Dn90
		25	6.5	32.15	0	0	0	0	30	Dn30
森 噴火湾西部 10.0	6/5	0	11.7	31.95	10	0	0	60	10	Dn10
		10	7.8	32.03	10	0	0	20	0	
		20	6.1	32.09	0	10	0	10	0	
		30	4.5	32.32	0	0	0	10	30	Dn20,Dru10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ
Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリホス
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部では4.6~9.2°C、噴火湾東部では6.5~14.2°C、噴火湾西部では4.5~11.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年6月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.5)	6/9	0	10.4	31.16	20	0	80	30 Dn	
		5	7.6	31.73	10	0	40	220 Dn210,Dro10	
		10	5.0	31.99	0	0	10	70 Dn	
		13	4.5	32.05	0	0	0	20 Dn	
常呂 (10.0)	6/9	0	12.5	33.05	0	0	0	0	
		10	10.1	33.39	0	10	0	0	
		20	9.8	33.42	0	0	0	10 Dn	
		30	9.6	33.44	0	0	0	10 Dru	
サロマ湖 (8.0)	6/9	0	12.7	31.53	0	10	10	0	
		3	12.5	31.19	0	0	80	0	
		6	10.2	32.44	0	0	0	20 Dn	
		9	10.0	32.37	0	0	0	10 Dn	
		12	9.3	32.41	0	0	0	10 Dn	
		15	8.0	31.88	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、6月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で最高20細胞/L出現しました。オホーツク海中部(常呂)およびサロマ湖海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にディノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月5日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (12.0)	5/28	0	11.2	33.91	0	0	0	0	Dn
		10	10.6	33.91	0	0	0	0	
		20	10.6	33.93	0	0	0	10	
		30	9.4	33.92	0	0	0	0	
猿払 -	5/28	0	6.1	33.61	0	0	10	0	
		10	6.0	33.61	0	0	10	0	
		15	6.0	33.62	0	0	0	0	
		20	6.0	33.62	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月3日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (3.7)	5/26	0	8.7	30.08	20	40	910	260	Dn240, Di20
		10	7.9	31.80	0	20	220	90	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラ、ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年6月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (7.0)	5/28	0	5.7	30.54	0	0	100	70	Dn
		5	5.0	31.06	0	0	80	80	Dn
		10	3.8	31.88	0	0	0	50	Dn
		15	3.4	32.09	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の標津海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (5.5)	5/22	0	11.7	31.02	0	20	20	0
		10	9.2	33.52	0	0	10	0
		20	8.4	33.69	0	10	10	0
		30	4.0	33.90	0	0	20	10

Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の石狩湾(浜益)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカがそれぞれわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (1.0)	5/20	0	7.8	31.65	10	0	40	10	Dn
		10	6.9	32.40	0	0	60	10	Dn
		20	6.3	32.70	0	0	0	10	Dn
		30	5.5	32.81	0	0	0	0	
増毛 (16.0)	5/20	0	9.6	33.25	0	0	0	0	
		10	9.2	33.38	0	0	0	0	
		20	8.9	33.52	0	0	0	0	
		30	7.6	33.90	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、網走でデイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (6.0)	5/23	0	5.7	31.68	0	0	10	0	
		5	5.1	31.61	0	0	0	10	Dn
		10	4.8	31.70	0	0	10	30	Dn
		13	4.5	31.66	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HKO8)

(函館水試担当地区)

2014年5月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	5/21	0	1.7	32.50	0	0	0	0	0	
		10	0.9	32.45	0	0	0	0	0	
		20	0.9	32.47	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
虻田 噴火湾東部 15.0	5/19	0	6.8	32.15	20	0	0	0	0	
		5	5.7	32.33	0	20	0	10	50	Dn50
		10	4.0	32.38	0	10	0	0	50	Dn50
		15	3.1	32.41	0	0	0	0	0	
		20	2.6	32.37	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 13.5	5/15	0	9.8	31.85	0	10	0	0	0	
		5	9.5	32.07	0	20	0	10	0	
		10	7.0	32.31	0	0	0	10	0	
		15	6.0	32.33	0	0	0	0	0	
		20	5.0	32.42	0	0	0	10	0	
森 噴火湾西部 11.0	5/19	0	10.4	31.28	0	0	0	0	0	
		10	7.9	31.62	0	30	0	40	10	Dn10
		20	7.1	31.74	10	0	10	40	70	Dn60,Dru10
		30	6.4	31.98	0	0	0	10	40	Dn30,Dru10
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	5/15	0	10.0	31.90	10	40	20	20	10	Dn10
		5	8.9	32.00	0	40	20	30	0	
		10	7.3	32.12	0	10	0	20	20	Dn20
		15	5.6	32.36	0	50	0	0	10	Dn10
		20	4.3	32.38	0	0	0	0	10	Dn10
		25	3.8	32.46	0	0	0	0	90	Dn90
知内 津軽海峡	5/19	0	10.4	33.52	0	0	20	0	0	
		10	10.1	33.64	0	0	10	0	0	
		20	10.0	33.62	0	0	10	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

5月中旬の水温は、噴火湾東部では2.6~6.8°C、噴火湾西部では4.3~10.4°C、噴火湾湾口部では3.2~10.0°C、津軽海峡では10.0~10.4°Cです。

5月下旬の水温は、太平洋中部では0.9~1.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別	5/15	0	8.0	32.00	0	30	60	30	Dn
		10	7.8	32.88	0	10	30	20	Dn
		20	7.2	33.05	0	10	30	10	Dn
		30	6.9	33.13	0	10	20	10	Dn
サロマ湖 (1.5)	5/19	0	7.4	30.03	0	0	140	40	Dn
		3	7.2	30.03	0	0	140	20	Dn
		6	7.0	30.51	0	0	0	0	
		9	6.8	30.80	0	0	0	10	Dn
		12	6.7	31.00	0	0	0	0	
		15	6.3	30.98	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (9.0)	5/12	0	7.5	32.48	0	0	10	0	
		15	6.4	32.92	0	0	20	10	Dn
		25	6.3	32.95	0	0	40	20	Dn
		40	4.8	33.47	0	0	10	0	
江差 (12.0)	5/12	0	11.3	33.88	0	0	0	0	
		10	10.3	33.86	0	0	0	0	
		20	9.9	33.97	0	0	0	0	
		30	9.4	33.94	0	0	0	0	
猿払 -	5/13	0	7.6	33.01	0	0	40	30	Dn
		10	7.6	33.03	0	0	40	10	Dn
		15	7.5	33.06	0	0	30	30	Dn
		20	7.5	33.06	0	10	30	0	
標津 (9.0)	5/15	0	9.7	29.76	0	0	10	10	Dn
		5	4.8	31.26	0	0	0	0	
		10	1.6	31.82	0	0	0	0	
		15	-0.8	31.98	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK07)

(函館水試担当地区)

2014年5月16日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 17.0	5/12	0	7.5	31.67	0	0	0	0	0	
		10	4.6	31.86	0	0	0	30	90	Dn90
		20	1.0	32.01	0	0	0	0	10	Dn10
		30	0.0	32.21	0	0	0	10	0	
虻田 噴火湾東部 11.5	5/7	0	7.9	32.00	10	0	0	10	0	
		5	7.7	31.99	0	0	0	0	0	
		10	7.5	32.02	0	10	0	0	0	
		15	7.0	32.23	0	0	0	0	10	Dn10
		20	6.7	32.19	0	0	0	20	0	
		25	5.8	32.25	0	0	0	10	10	Dn10
森 噴火湾西部 15.0	5/2	0	8.7	31.52	0	0	0	20	0	
		10	4.3	32.42	0	0	0	0	0	
		20	2.8	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.4	32.74	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、噴火湾東部は5.8~7.9°C、噴火湾西部は2.4~8.7°Cです。

5月中旬の水温は、太平洋中部は0.0~7.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			Dn
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (7.0)	5/8	0	9.7	29.53	0	0	0	0	
		10	9.1	31.51	0	0	20	0	
		20	8.8	32.75	0	0	30	10	
		30	9.0	33.42	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の日本海北部(増毛)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年5月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (3.0)	4/30	0	10.1	22.90	0	0	20	0	
		10	6.3	31.03	0	0	90	10	Dru
		20	5.9	33.49	0	0	10	0	
		30	4.0	33.49	0	0	10	0	
サロマ湖 (6.0)	5/7	0	7.8	29.10	0	0	0	10	Dn
		3	7.8	29.09	0	0	20	10	Dn
		6	3.2	30.59	0	0	0	0	
		9	1.4	30.84	0	0	0	0	
		12	0.3	31.37	0	0	0	0	
		15	-0.2	31.55	0	0	0	0	
常呂 (6.0)	5/7	0	6.0	32.61	0	0	60	20	Dn
		10	5.9	32.84	0	0	50	10	Dn
		20	4.5	33.21	0	0	10	20	Dn
		30	4.5	33.19	0	0	30	0	

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年5月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		Dn
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (-)	4/28	0	7.3	22.01	0	0	0	50	
		10	0.3	31.54	0	0	0	0	
厚岸 (5.0)	5/7	0	7.4	29.30	0	0	0	0	
		5	3.4	31.45	0	0	0	0	
		10	2.3	31.64	0	0	0	0	
		13	1.8	31.71	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK06)

(函館水試担当地区)

2014年5月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	4/24	0	6.5	32.14	0	0	0	10	10	Dn10
噴火湾湾口部		5	6.3	32.14	20	0	0	0	30	Dn30
21.0		10	5.1	32.36	0	0	0	20	0	
		15	3.7	32.37	0	0	0	10	130	Dn130
		20	3.0	32.38	0	0	0	0	30	Dn30
		25	2.9	32.40	0	0	0	0	70	Dn70
		30	2.7	32.48	0	10	0	0	10	Dn10
		40	2.7	32.70	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウエジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

4月下旬の水温は、噴火湾湾口部では2.7~6.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	4/22	0	3.3	33.44	0	0	0	0	
		10	3.4	33.45	0	0	0	10	Dru10
		15	3.4	33.46	0	0	0	10	Dn
		20	3.3	33.46	0	0	0	10	Dn
増毛 (11.0)	4/22	0	7.0	31.74	0	0	0	0	
		10	4.3	33.09	0	0	0	30	Dn
		20	3.9	33.39	0	0	0	0	
		30	3.5	33.66	0	0	0	0	
江差 (9.0)	4/25	0	9.3	33.06	0	0	0	0	
		10	9.5	33.89	0	0	0	0	
		20	8.9	33.91	0	10	0	20	Dro
		30	8.5	33.92	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月下旬の猿払、増毛、江差海域では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルジエイ、ノルウェジカ、ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (9.0)	4/25	0	6.1	28.80	0	0	0	0	Dn
		5	2.0	31.46	0	0	0	10	
		10	1.0	31.54	0	0	0	0	
		13	0.7	31.60	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ノルヴェジカがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK05)

(函館水試担当地区)

2014年4月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	4/21	0	2.6	31.84	0	0	0	40	10	Dn10
		10	2.3	31.84	0	0	0	50	40	Dn40
		20	2.2	31.86	0	0	0	10	40	Dn30,Dro10
		30	1.5	31.99	0	0	0	60	20	Dn10,Dru10
虻田 噴火湾東部 15.5	4/22	0	5.9	32.26	0	0	0	0	0	
		5	4.8	32.37	0	0	0	0	10	Dn10
		10	4.1	32.40	0	0	0	0	0	
		15	3.4	32.51	0	0	0	0	0	
		20	3.2	32.52	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 17.5	4/22	0	6.2	30.84	0	0	0	0	0	
		5	4.4	32.26	0	0	0	0	0	
		10	3.9	32.31	0	0	0	0	10	Dn10
		15	3.5	32.36	0	0	0	0	0	
		20	3.1	32.60	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 24.0	4/22	0	5.0	31.39	0	0	0	10	0	
		10	3.6	32.41	0	0	0	10	10	Dn10
		20	2.9	32.36	0	0	0	10	0	
		30	2.2	32.50	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンテブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部 噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

4月中旬の水温は、太平洋中部は1.5~2.6°C、噴火湾東部は3.1~5.9°C、噴火湾西部は2.2~6.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (-)	4/14	0	5.1	31.53	0	0	0	10	Dn
		10	3.9	33.08	0	0	0	0	
		20	3.5	33.59	0	0	0	10	Dn
		30	3.6	33.69	0	0	0	10	Dn
頓別 (-)	4/17	0	2.7	33.66	0	0	0	20	Dn
		10	2.7	33.66	0	0	0	20	Dn
		20	2.6	33.67	0	0	0	30	Dn
		30	2.6	33.66	0	0	0	70	Dn
紋別 (11.0)	4/18	0	0.0	31.83	0	0	0	0	
		15	-0.3	32.23	0	0	0	0	
		25	-0.2	32.29	0	0	0	0	
		38.4	-0.1	32.60	0	0	0	0	
常呂 (13.0)	4/21	0	1.2	31.48	0	0	0	10	Dn
		10	0.2	32.19	0	0	0	0	
		20	0.1	32.25	0	0	0	0	
		30	0.0	32.33	0	0	10	0	
網走 (5.0)	4/16	0	0.9	31.68	0	0	0	30	Dn
		10	-0.4	32.04	0	0	0	10	Dn
		20	-0.7	32.09	0	0	0	10	Dn
		28	-0.8	32.09	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の日本海北部(増毛)、宗谷南部(頓別)、網走北部(紋別)、同中部(常呂)および同南部(網走)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・ノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (9.0)	4/14	0	8.3	33.84	0	0	0	10	Dn
		10	7.7	33.93	0	0	0	10	Di10
		20	7.3	33.91	0	10	0	0	
		30	7.3	33.93	0	0	0	30	Di20, Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の江差で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、ノルヴェジカ、インファンディブラおよびロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	4/8	0	0.4	33.23	0	0	0	0
		10	0.4	33.22	0	0	0	0
		15	0.4	33.22	0	0	0	0
		20	0.4	33.22	0	0	0	0
常呂 (8.0)	4/14	0	0.2	31.59	0	0	10	0
		10	-0.7	32.04	0	0	0	0
		20	-0.8	32.05	0	0	0	0
		30	-0.8	32.05	0	0	0	0
標津 (13.0)	4/14	0	-0.7	31.58	0	0	0	0
		5	-0.9	31.57	0	0	0	0
		10	-1.0	31.56	0	0	0	0
		15	-1.0	31.58	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、4月上～中旬の宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)および根室海峡(標津)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが常呂でわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒フランクtonモニタリング速報(HK04)

(函館水試担当地区)

2014年4月16日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.0	4/8	0	1.4	31.70	0	0	0	10	0	
		10	0.8	32.12	0	0	0	0	0	
		20	0.7	32.42	0	0	0	0	0	
		30	1.7	32.83	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	4/7	0	3.0	31.66	0	0	0	0	0	
		5	2.9	32.33	0	0	0	10	0	
		10	2.9	32.48	0	0	0	0	0	
		15	2.7	32.56	0	10	0	0	0	
		20	2.5	32.61	0	0	0	0	0	
		25	2.3	32.62	0	0	0	0	10	Dn10
森 噴火湾西部 5.0	4/2	0	3.6	31.71	0	0	0	0	0	
		10	3.1	32.33	0	0	0	0	0	
		20	2.9	32.48	0	0	0	10	0	
		30	2.7	32.59	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 7.0	4/9	0	6.7	33.72	0	0	10	10	0	
		10	6.5	33.78	0	0	0	10	10	Dn10
		20	6.4	33.81	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ
 Alexandrium アレキサンドリウム=旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。
 麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。
 下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

4月上旬の水温は、太平洋中部は0.7~1.7°C、噴火湾東部は2.3~3.0°C、噴火湾西部は2.7~3.5°C、津軽海峡は6.4~6.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年4月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (1.9)	4/8	0	1.1	28.44	0	0	0	0
		5	0.3	31.41	0	0	0	0
		10	-0.5	31.96	0	0	0	0
		13	-0.7	32.24	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK03)

(函館水試担当地区)

2014年3月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 5.0	3/20	0	0.4	32.27	0	0	0	0	0	
		10	0.1	32.27	0	0	0	10	0	
		20	0.0	32.29	0	0	0	0	0	
		30	0.1	32.33	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.0	3/3	0	1.6	32.24	0	0	0	20	0	
		5	1.6	32.43	0	0	0	30	0	
		10	1.7	32.50	10	0	0	30	0	
		15	1.8	32.58	0	0	0	0	0	
		20	2.0	32.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 7.0	3/24	0	2.9	32.22	0	0	0	0	0	
		5	2.3	32.62	0	0	0	10	0	
		10	2.2	32.65	0	0	0	0	0	
		15	2.2	32.65	10	0	0	10	0	
		20	2.2	32.66	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 5.5	3/17	0	1.3	32.57	10	0	0	50	0	
		10	1.6	32.62	0	0	0	10	0	
		20	1.7	32.67	0	0	0	0	0	
		30	1.7	32.66	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 6.0	3/19	0	2.1	32.67	0	0	0	10	10	
		5	1.9	32.65	0	0	0	10	0	
		10	1.9	32.66	0	0	0	10	0	
		15	1.9	32.67	0	0	0	40	0	
		20	1.9	32.67	10	0	0	0	0	
		25	1.9	32.68	0	0	0	0	0	
		30	1.9	32.69	0	0	0	10	0	
40	1.9	32.68	0	0	0	0	0			
知内 津軽海峡 12.0	3/4	0	3.0	33.02	0	0	0	0	0	
		10	3.0	33.04	0	0	0	0	0	
		20	3.7	33.33	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は3月は、太平洋中部は0.0~0.4°C、噴火湾東部は1.6~2.4°C、噴火湾西部は1.3~2.9°C、噴火湾湾口部は1.9~2.1°C、津軽海峡は3.0~3.7°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年3月17日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (16.0)	3/12	0	-1.3	31.64	0	0	0	0
		5	-1.4	31.56	0	0	0	0
		10	-1.4	31.56	0	0	0	0
		13	-1.4	31.56	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の標津海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津海域で出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年3月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	3/5	0	-0.2	31.21	0	0	0	0
		5	-0.2	31.47	0	0	20	0
		10	-0.5	31.71	0	0	20	0
		13	-0.5	31.71	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

3月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK02)

(函館水試担当地区)

2014年2月19日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 8.0	2/4	0	3.7	32.70	0	0	0	0	0	
		10	3.7	32.90	0	0	0	0	0	
		20	3.7	32.92	0	0	0	0	0	
		30	3.8	32.98	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 16.0	2/7	0	3.2	32.83	20	0	0	0	0	
		5	3.2	32.85	0	0	0	10	0	
		10	3.4	32.96	0	0	0	0	0	
		15	3.6	32.99	0	0	0	0	10	Dro10
		20	4.1	33.07	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.16	10	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 2.0	2/12	0	2.6	33.06	0	0	0	10	0	
		5	2.5	33.06	0	0	0	0	0	
		10	2.5	33.10	0	0	0	0	0	
		15	2.9	33.14	0	0	0	0	0	
		20	2.8	33.14	0	0	0	0	0	
		25	2.9	33.16	0	0	0	0	0	
		30	3.0	33.17	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 6.0	2/17	0	4.2	32.99	0	0	0	0	0	
		10	4.4	33.11	0	0	0	0	0	
		20	5.8	33.40	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

水温は2月上中旬は、太平洋中部は3.7~3.8°C、噴火湾東部は3.2~4.4°C、噴火湾西部は2.5~3.0°C、津軽海峡は4.2~5.8°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年2月14日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (15.0)	2/12	0	-0.6	31.41	0	0	10	10	Dn
		5	-0.6	31.41	0	0	100	0	
		10	-0.7	31.41	0	0	60	0	
		15	-0.7	31.41	0	0	30	10	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフイネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く、ノルヴェジカがわずかに、それぞれ出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2014年2月5日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	2/4	0	-0.3	31.46	0	0	0	0
		5	-0.2	31.62	0	0	0	0
		10	0.1	31.88	0	0	0	0
		13	0.1	31.90	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸海域で出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK01)

(函館水試担当地区)

2014年1月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	1/6	0	6.5	33.29	0	0	0	0	0	
		10	6.5	33.30	0	0	0	0	0	
		20	6.5	33.29	0	0	0	0	0	
		30	6.5	33.30	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	1/14	0	4.9	32.32	0	0	0	0	0	
		5	5.4	33.46	0	0	0	0	0	
		10	5.6	33.54	0	0	0	0	0	
		15	5.6	33.54	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.54	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 14.5	1/17	0	4.7	33.55	0	0	0	0	0	
		5	5.0	33.60	0	0	0	0	0	
		10	5.1	33.61	0	0	0	0	0	
		15	4.9	33.59	0	0	0	0	0	
		20	5.0	33.60	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 14.5	1/21	0	9.3	33.77	0	0	0	0	0	
		10	9.4	33.87	0	0	0	0	0	
		20	9.4	33.87	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部 噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

水温は1月上旬は、太平洋中部は6.5°C、噴火湾東部は4.9~5.6°C、噴火湾西部は4.7~5.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2014年1月20日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (12.0)	1/15	0	2.6	31.70	0	0	0	0
		5	2.6	31.69	0	0	0	0
		10	2.6	31.69	0	0	0	0
		15	2.6	31.69	0	0	0	0
厚岸 (5.5)	1/16	0	0.7	31.59	0	0	0	0
		5	1.5	32.02	0	0	30	0
		10	2.0	32.10	0	0	10	0
		13	1.9	32.12	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の標津海域と厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸海域でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)